

トヨ耐熱しん 第129種

石油燃焼機器用しん 取扱説明書

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。(しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。)

商品コード	11256907	品名	ガラスシンクミタテ
<p>適合する機器の型式</p> <p>RS-235-236-263-1237E NRS-2303Vc NF-21, KSL21, HRB-L21, 6P9-210, RSK-233, TP-23, CP6-21</p> <p>RS-D234-D235-D295-D297-23-237-D238E-D239E 6P9-D235-23, NRS-230-23-237, VR-D297, PA-239, NRS-D234-1029, D292, D293, D234-D295, CP-D235-D236-D237-D238E-D239E</p> <p>RC-D284E-D285E-D287E-D288E NRC-D285E-3-D285E-4-D285E</p> <p>RS-S23A-S23B-S23C-S23D-S23E-S23F-S24C-S24D-G24D-G24E-G24F-G24D-G23</p> <p>RC-S28A-S28B-S28C-S28D-S28E-S28F-S28G-S28H</p> <p>CS-S28A-S28B-S28C-S28D</p> <p>RSX-2300-230, NT-S28D-S28G-S28H</p> <p>RSV-23-230, AH-2300, R6YM-230</p> <p>NRS-S28E-7-S28E-9-S28E-9 S28E1-S28E2, S281S23-S2310E4-S2317E5-S2310E6 S2310E7-S2321E5</p> <p>AS-S28E-S28C-S2301-S2301</p> <p>NRC-S28E9-S28E9-S28E1-S28E2, S281S23-S2810E4-S2817E5-S2810E6 S2810E7-S2821E5</p>			
 <p>T4963505999230</p>		 <p>JIS S 2038 石油燃焼機器用しん 品番：1518000639</p>	

替しんの型式名 トヨ耐熱しん第129種 種類 普通筒しん  
呼び寸法 φ65×2.5 からやきの可否 からやき可

株式会社 トヨトミ 製造 SILVER SIM 1518000641 L-38

■特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

ここに示した事項は **△注意** を表示しています。

**△注意**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う(可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています) **!** マークは「指示」 **⊘** マークは「接触禁止」

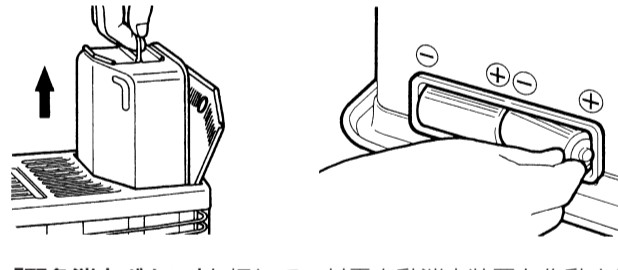
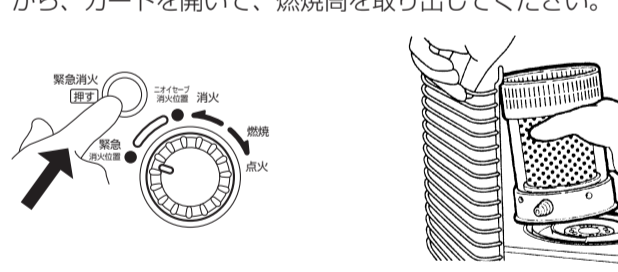
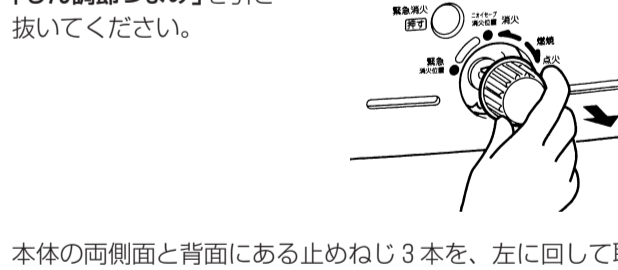
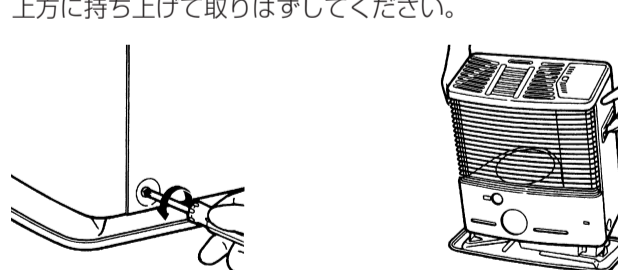
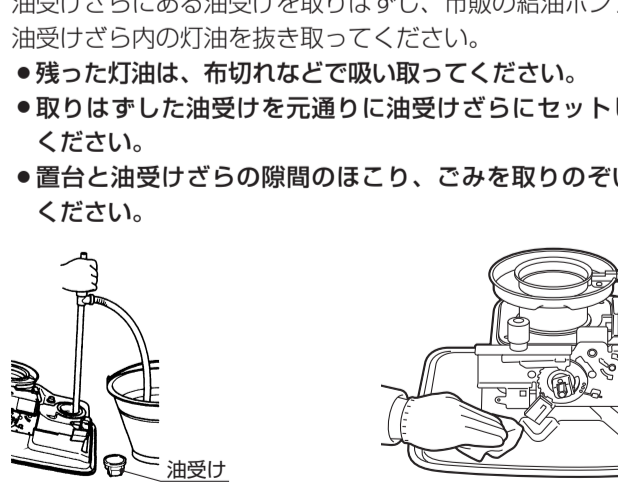
**△注意 (CAUTION)**

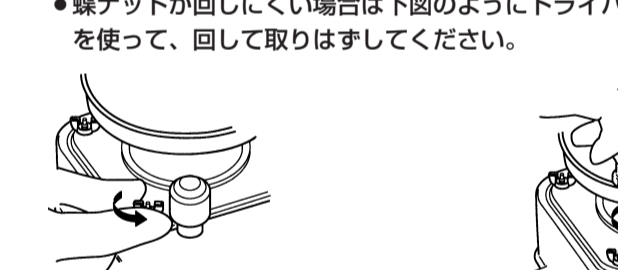
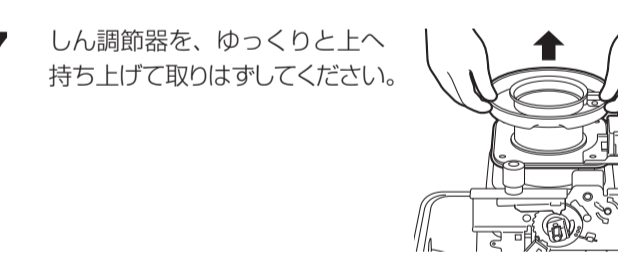
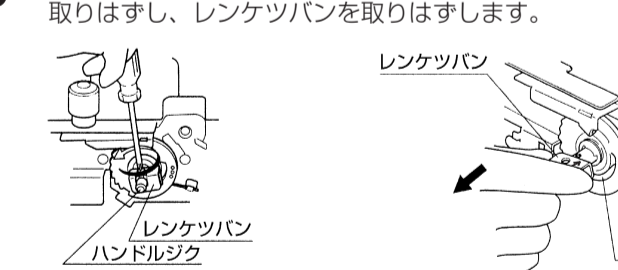
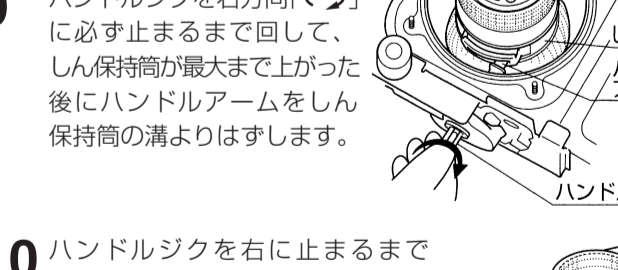
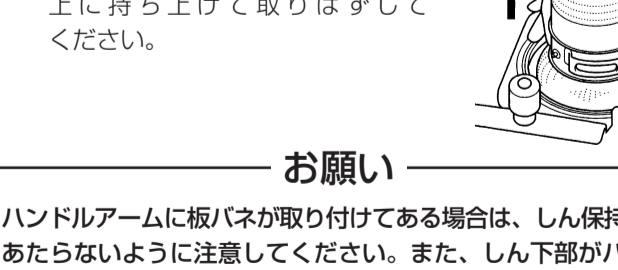
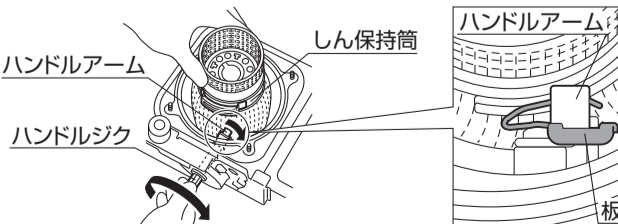
- ★**適合する機器の確認**  
適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。  
予想もしない事故が発生するおそれがあります。
- ★**保護具の着用**  
機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。  
誤ってけがをするおそれがあります。
- ★**高温部に注意**  
必ずストーブを消火し、ストーブの温度が十分に下がってからおこなってください。  
やけどのおそれがあります。
- ★**乾電池を取りはずす**  
必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。  
やけどや感電のおそれがあります。
- ★**廃棄するとき**  
交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。  
廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。  
灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

**お願い (NOTICE)**

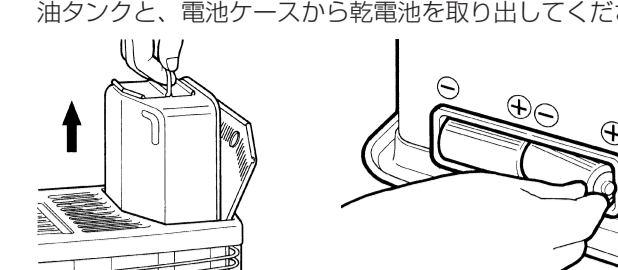
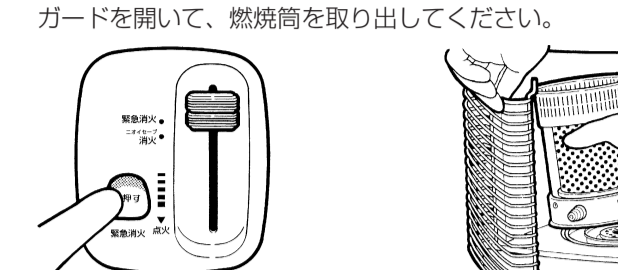
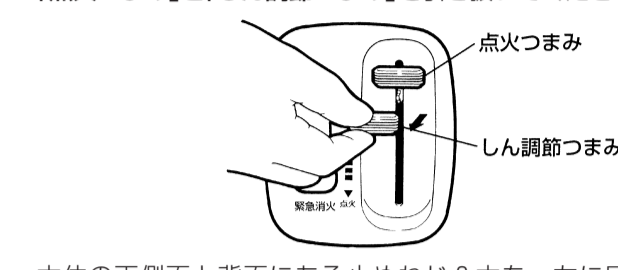
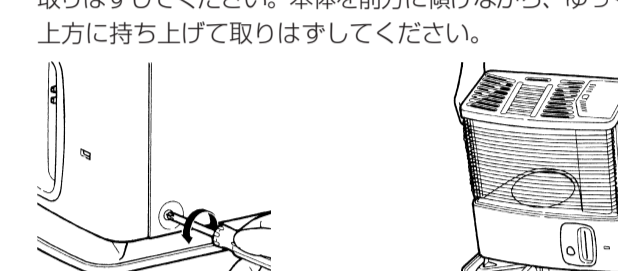
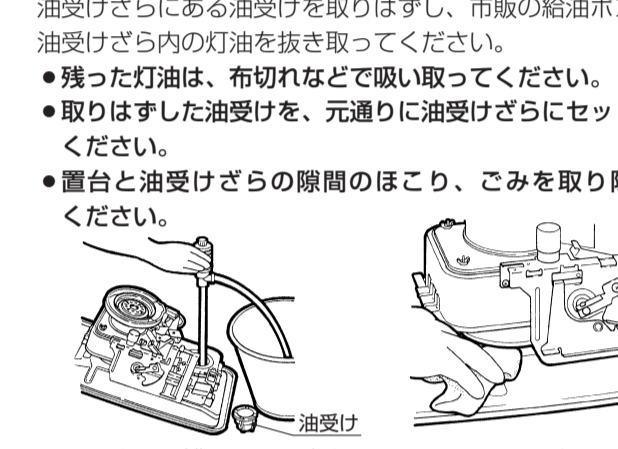

- ★**しん取り付け後の確認**
  - しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
  - 対震自動消火装置を動作させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
  - 点火操作をして、正常に燃焼することを確認してください。
- ★**変質灯油や不純灯油に注意**  
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。  
異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。
- ★**この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。**
- ★**しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火してください。** 十分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

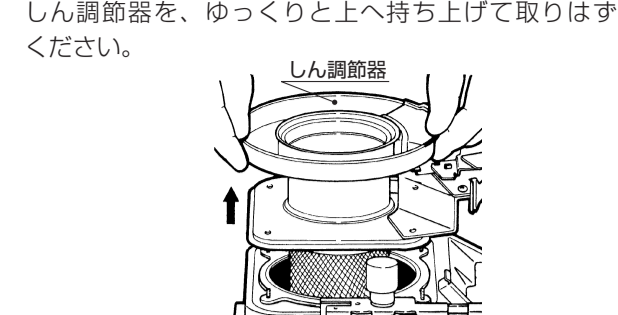
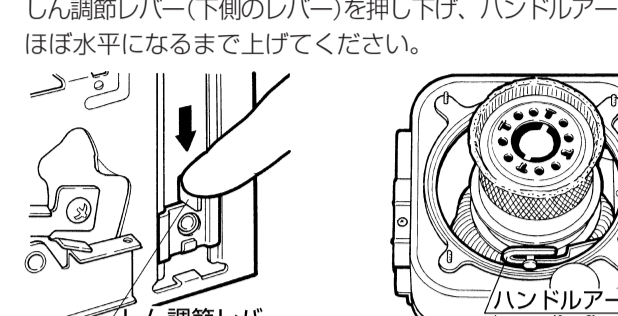
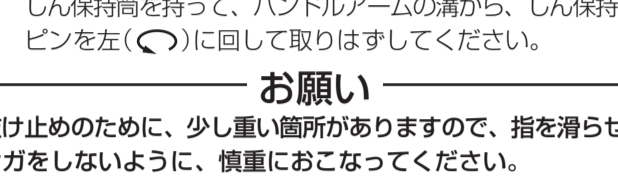
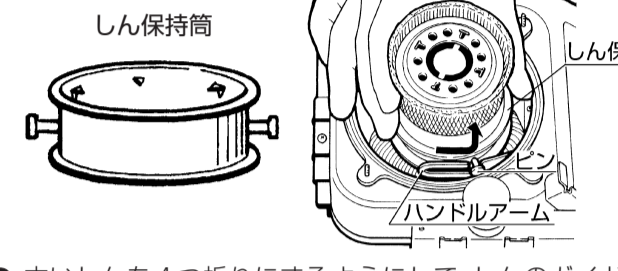
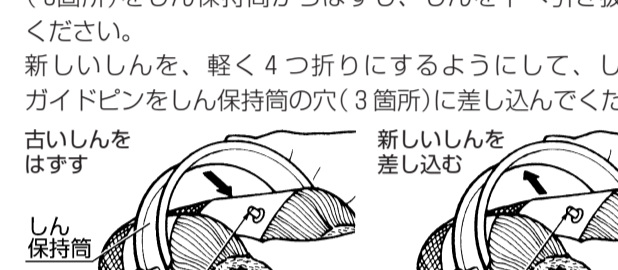
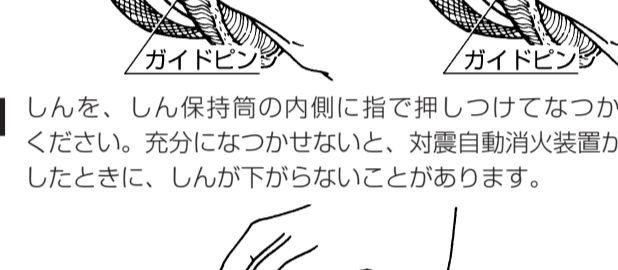
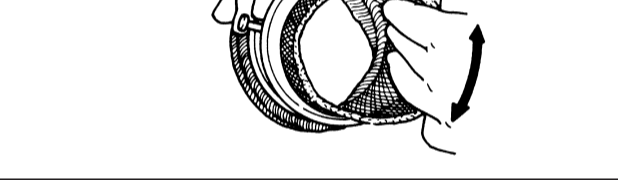


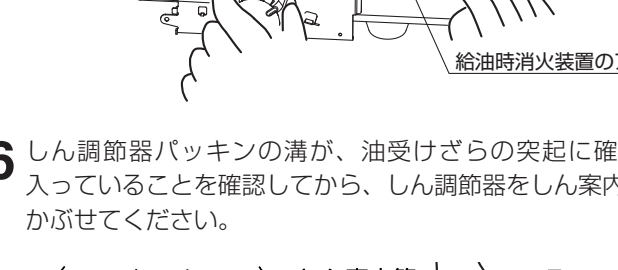

適合する機器の型式表 の 参照 ② の機種


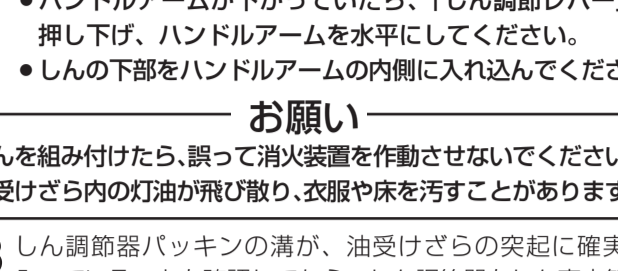
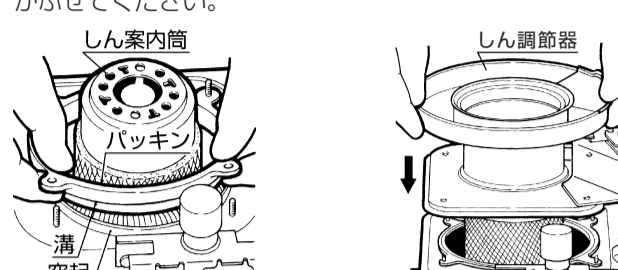
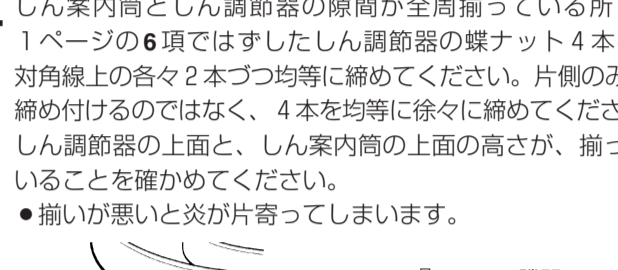


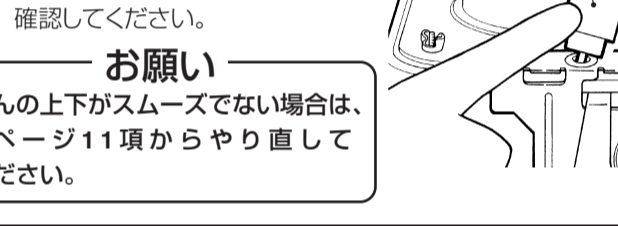
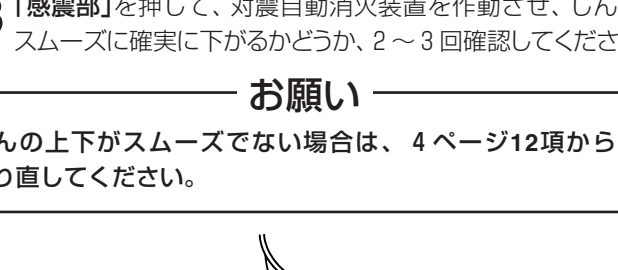
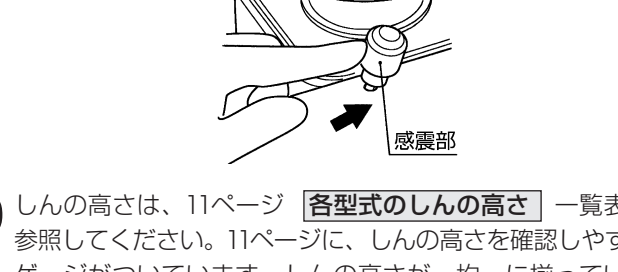
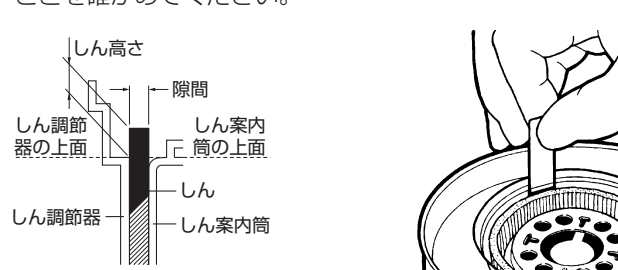
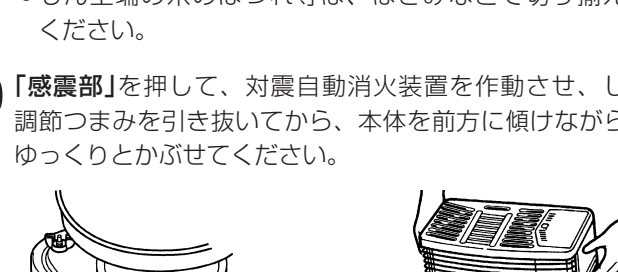
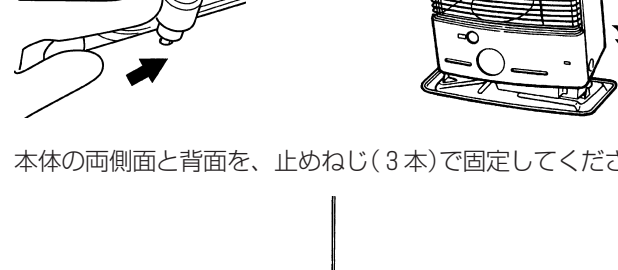

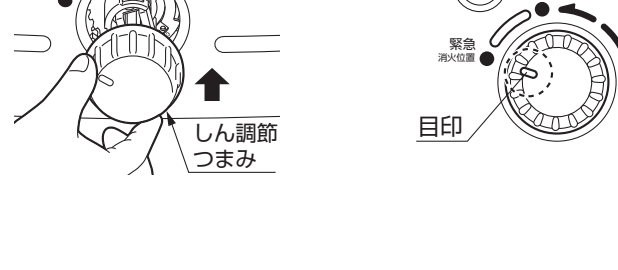
- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。  

- 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。  

- 「しん調節つまみ」を引き抜いてください。  

- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方向に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。  

- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。  
●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。  
●取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。  
●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。  


- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。  
●蝶ナットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。  

  - しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。  

  - ハンドルジクに固定してあるレンケツパンの止めねじ1本を取りはずし、レンケツパンを取りはずします。  

  - ハンドルジクを右方向「○」に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。  

  - ハンドルジクを右に止まるまで回さったまま、しん保持筒を持って上に持ち上げて取りはずしてください。  

- お願い**
- ハンドルアームに板バネが取り付けられている場合は、しん保持筒があたりないように注意してください。また、しん下部がバネにからまないようにも注意してください。
- 

適合する機器の型式表 の 参照 ① の機種

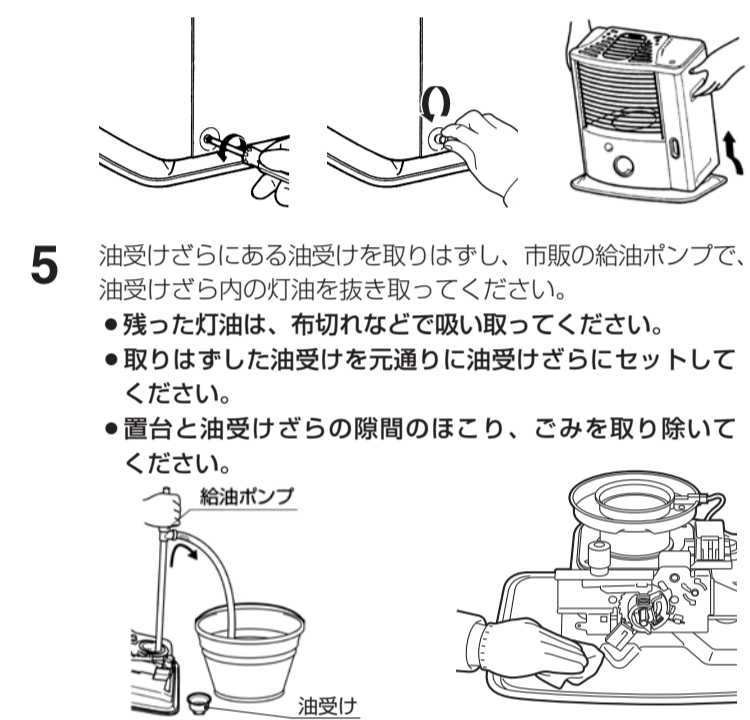
- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。  

- 「緊急消火ボタン」を押して、消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。  

- 「点火つまみ」と「しん調節つまみ」を引き抜いてください。  

- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方向に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。  

- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。  
●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。  
●取りはずした油受けを、元通りに油受けざらにセットしてください。  
●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取り除いてください。  

- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。  
●蝶ナットが回しにくい場合は、下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。  


- しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。  

  - しん調節レバー(下側のレバー)を押し下げ、ハンドルアームがほぼ水平になるまで上げてください。  

  - しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝から、しん保持筒のピンを左「○」に回して取りはずしてください。  
**お願い**  
抜止めのために、少し重い箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。  

  - 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。  
新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンをしん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。  
古いしんをはずす 新ししんを差し込む  

  - しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が動作したときに、しんが下がらないことがあります。  

- お願い**
- レンケツパンは、ガイドをスリットに差し込んで固定してください。  
- ハンドルジクにしん調節つまみを取り付けて、しんの上下がスムーズに動くか確認してください。  
給油時消火装置のついてる機器は給油時消火装置のアームを指で押し下げ確認してください。  

- しん調節器バックキンの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してから、しん調節器をしん案内筒にかぶせてください。  

- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、3ページ6項ではずしたしん調節器の蝶ナット4本を、対角線上の各々2本ずつ均等に締めてください。片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。  
しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。  
●揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。  

- しん案内筒に板バネが取り付けられている場合は、取りはずす時と同様にしん保持筒としん下部に注意してください。  

- ハンドルジクを左方向に完全に止まるまで回して、しんが完全に下がった状態にしてからレンケツパンをハンドルジクに通して差し込み、レンケツパンを支持しながら止めねじ1本で固定してください。  


- しん案内筒の溝に、しん保持筒のピンを、しん保持筒を右「○」に回してはめ込んでください。  

- しんの高さは、11ページ「各型式のしんの高さ」一覧表を参照してください。11ページに、しんの高さを確認しやすいゲージがついています。しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。  
●しん上部の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。  

- 「感震部」を押して、対震自動消火装置を動作させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方向に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。  

- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、1ページ6項ではずしたしん調節器の蝶ナット4本を、対角線上の各々2本ずつ均等に締めてください。片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。  
●揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。  

- しん調節レバー(下側のレバー)を押し下げ、しんを上げてください。  

- 「感震部」を押して対震自動消火装置を動作させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。  
**お願い**  
しんの上下がスムーズでない場合は、1ページ11項からやり直してください。  

- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕を正しく合わせて入れてください。  

- 油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が充分吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。  

- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕を正しく合わせて入れてください。  

- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。  

- しんの高さは、11ページ「各型式のしんの高さ」一覧表を参照してください。11ページに、しんの高さを確認しやすいゲージがついています。しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。  

- しん上部の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。  

- 「感震部」を押して、対震自動消火装置を動作させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方向に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。  

- 本体の両側面と背面を、止めねじ3本で固定してください。  

- しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。  

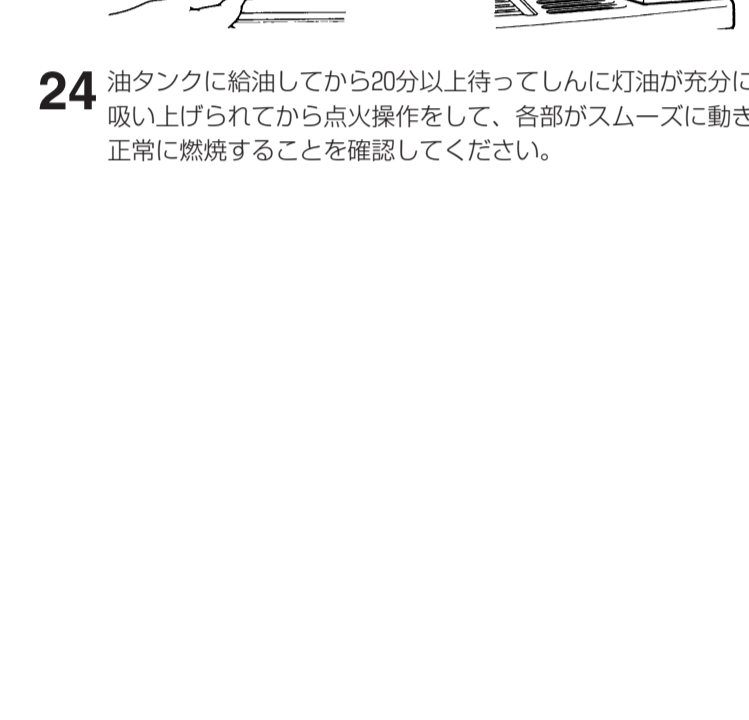

**適合する機器の型式表の参照 ④**の機種

- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。  
■RS-G24D・G24E・G24F・G240は乾電池はありません。
- 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。
- しん調節つまみを引き抜いてください。
- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。
- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。  
●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。  
●取はずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。



**適合する機器の型式表の参照 ④**の機種

- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。
- 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。
- しん調節つまみを引き抜いてください。
- 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。
- しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。



**適合する機器の型式表の参照 ④**の機種

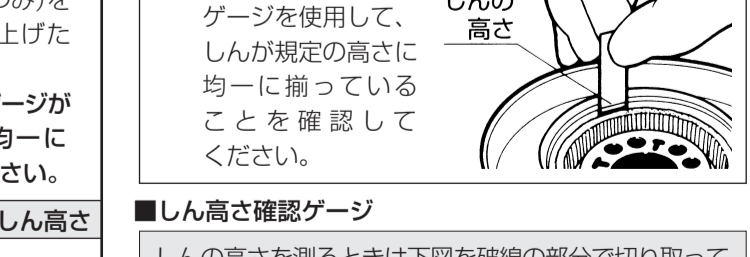
- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。



- しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。



- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



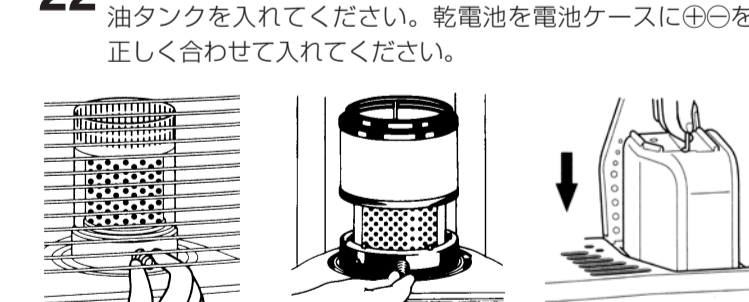
- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

**適合する機器の型式表の参照 ④**の機種

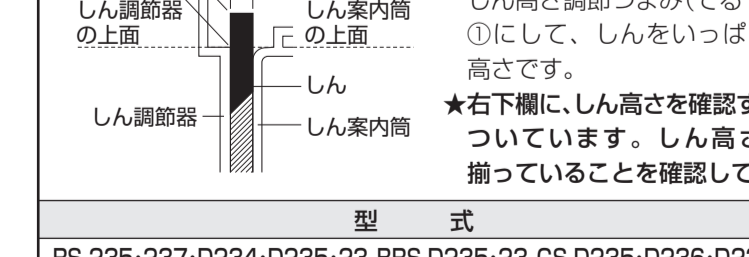
- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。



- しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。



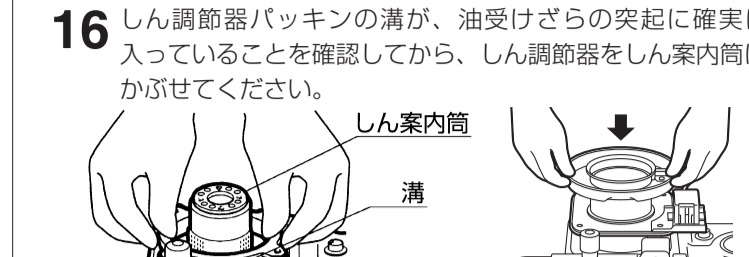
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



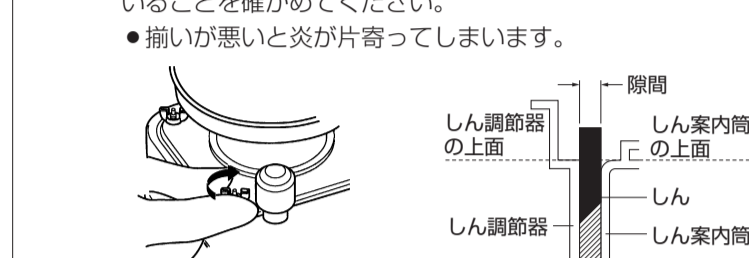
- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

**適合する機器の型式表の参照 ④**の機種

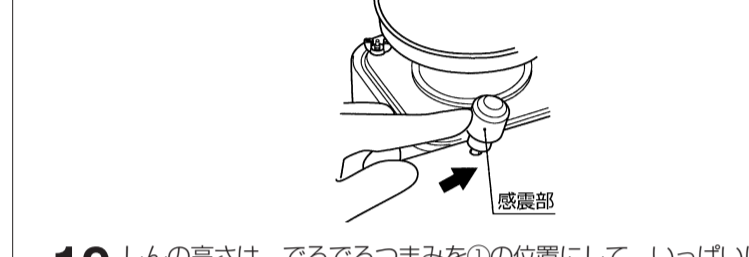
- しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。



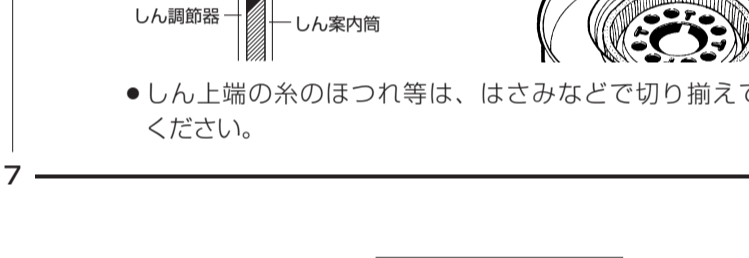
- しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



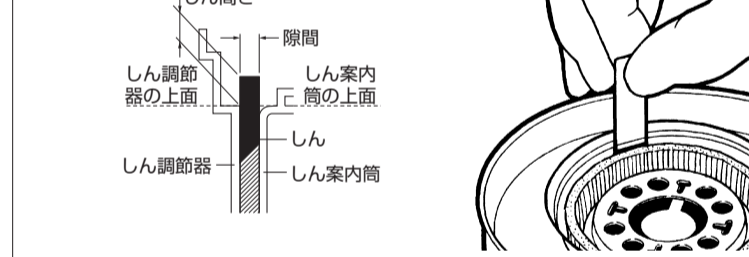
- ハンドルジクを右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。



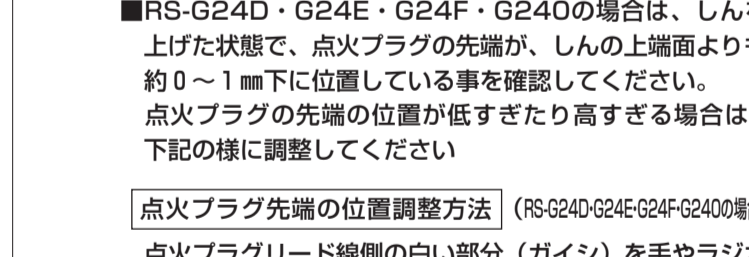
- ハンドルジクを右方向(☺)に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。



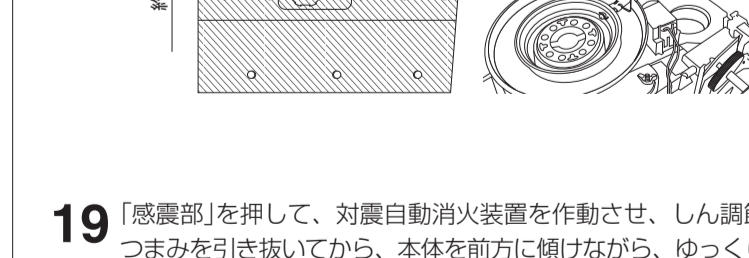
- 古いしんを、軽く4つ折りにするようすに、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。



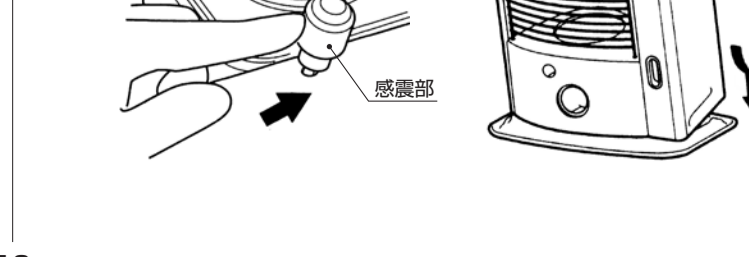
- 新しいしんを、軽く4つ折りにするようすに、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。



- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。

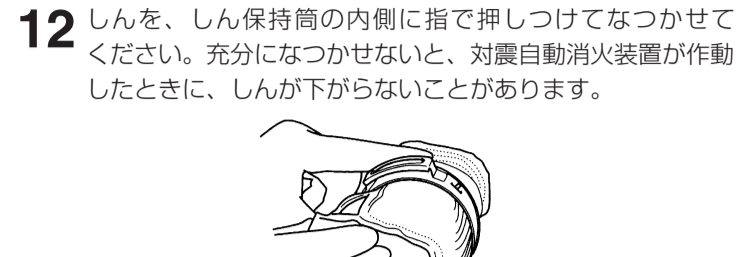


- ハンドルジクにしん調節つまみを取り付け、右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒を最大まで上げてください。

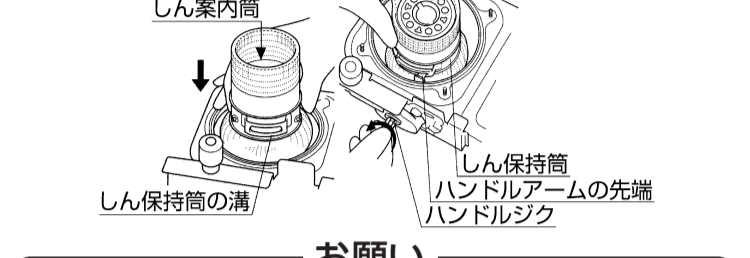


**適合する機器の型式表の参照 ④**の機種

- しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。



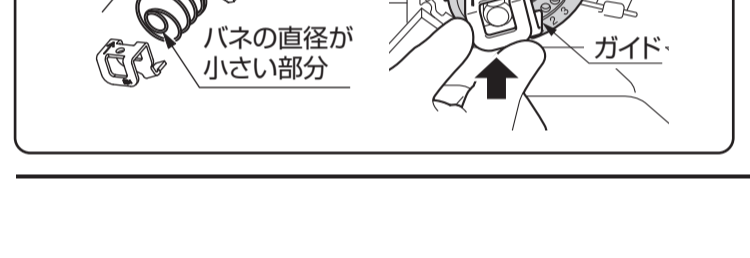
- しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



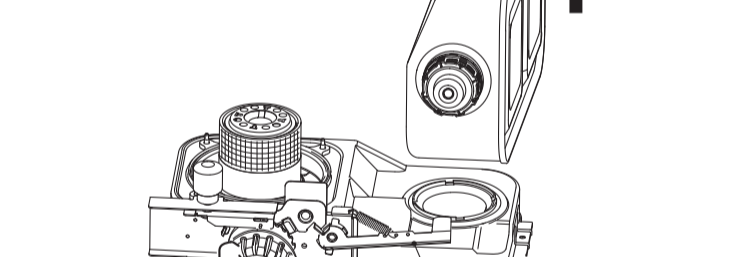
- ハンドルジクを右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。



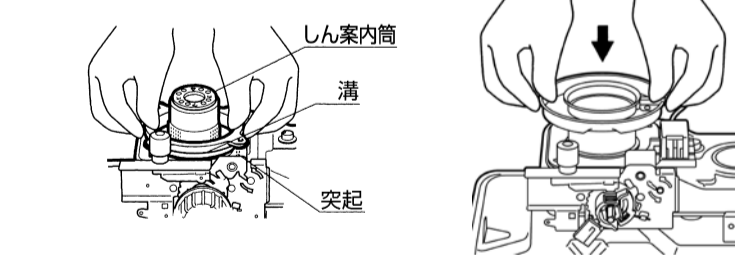
- ハンドルジクを右方向(☺)に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。



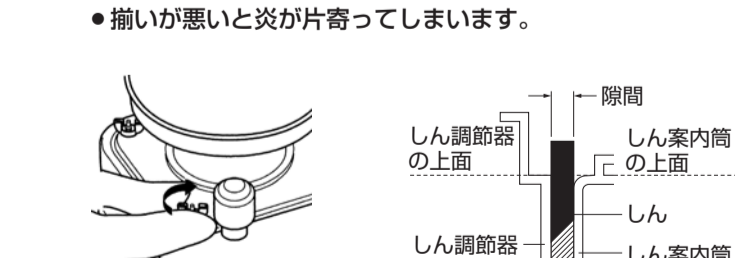
- 古いしんを、軽く4つ折りにするようすに、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。



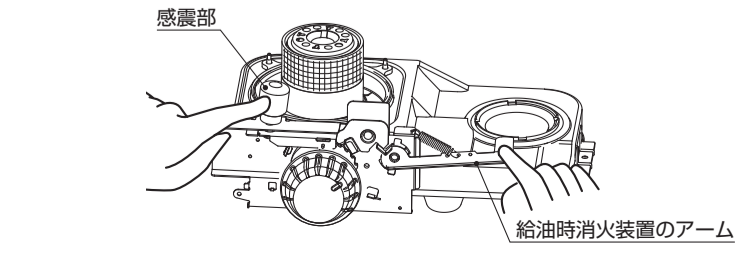
- 新しいしんを、軽く4つ折りにするようすに、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。



- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。

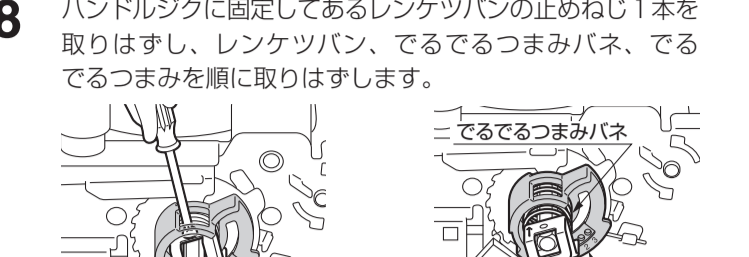


- ハンドルジクにしん調節つまみを取り付け、右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒を最大まで上げてください。



**適合する機器の型式表の参照 ③**の機種

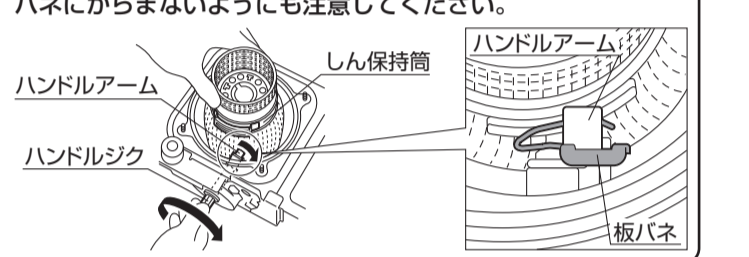
- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。



- 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。



- 「しん調節つまみ」を引き抜いてください。



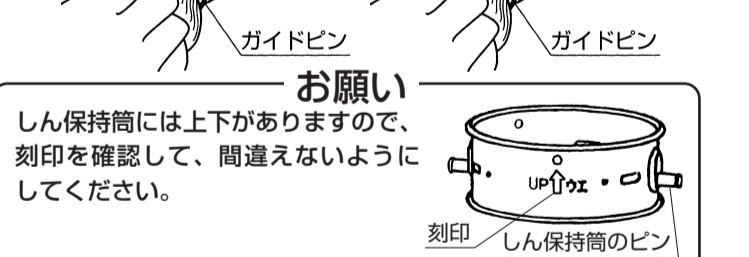
- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



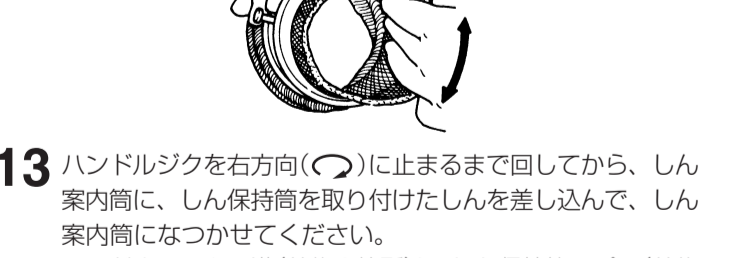
- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。



- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。



- ハンドルジクにしん調節つまみを取り付け、右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒を最大まで上げてください。

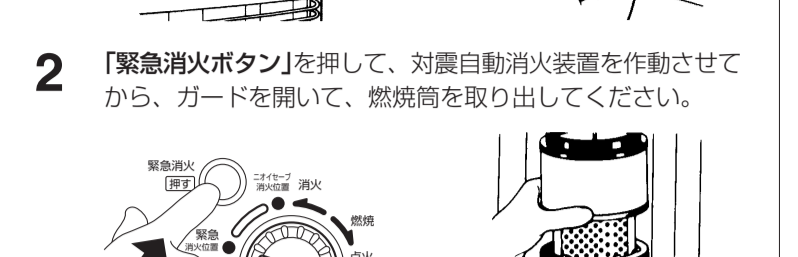


- ハンドルジクを右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。

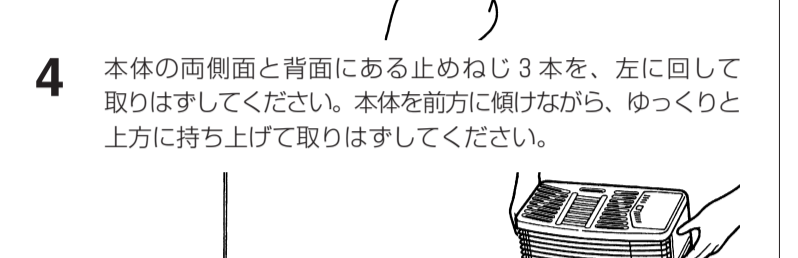


**適合する機器の型式表の参照 ③**の機種

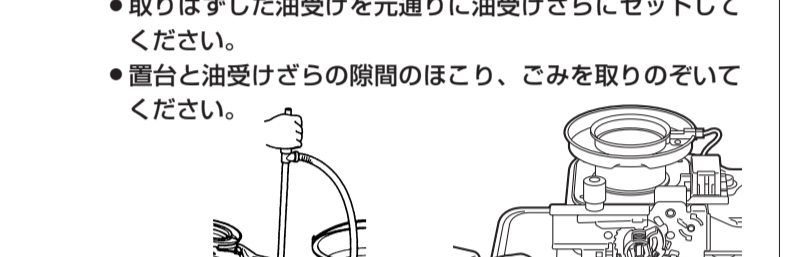
- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。



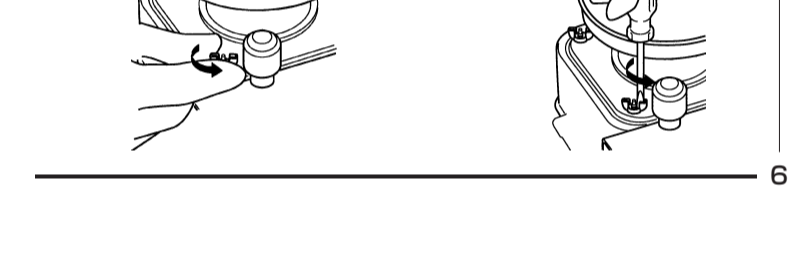
- 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。



- 「しん調節つまみ」を引き抜いてください。



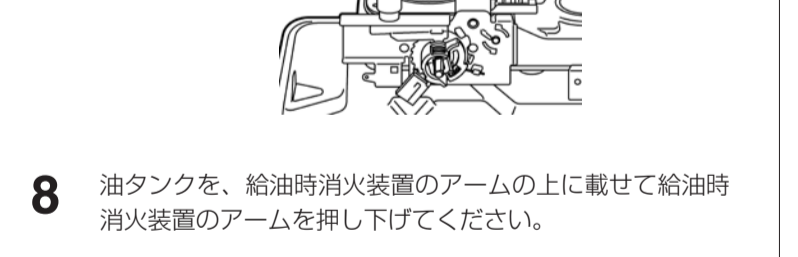
- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。



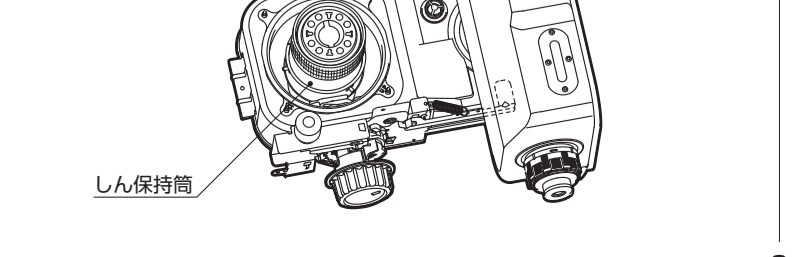
- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。



- ハンドルジクにしん調節つまみを取り付け、右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒を最大まで上げてください。



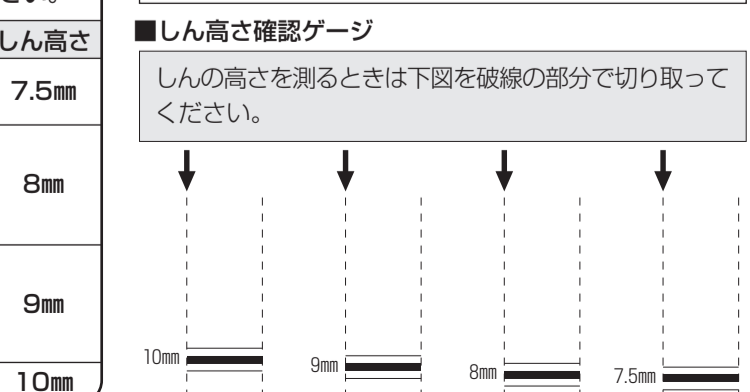
- ハンドルジクを右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。



**各型式のしんの高さ**

型 式	しん高さ
RS-235・237・D234・D235・23, BRS-D235-23, CS-D235-D236-D237 HRS-235D-23・237, NRS-D234-D235-D236E-23E3-23E4	7.5mm
RS-233-923・1237E・S23A・S23B・S23C・S23D・S23E・S23F・S23G・S23H・S23I・S23J・S23K・S23L・S23M・S23N・S23O・S23P・S23Q NRS-233V6-S23E7-S23E8-S23E9-S23E10・S23E11-S23E12-S23E13-S23E14-S23E15-S23E16-S23E17-S23E18-S23E19 S23E20-S23E21-S23E22-S23E23-S23E24-S23E25-S23E26-S23E27-S23E28-S23E29-S23E30-S23E31-S23E32 AS-S23B-S23C-2300-2301 RSV-RSV-2300-2300 RSV-23-230A-AH-2300 RSV-2300	8mm
RC-D284E-D285E-D287E-D288E NRC-D283E-D284E-D285E-S286E-S287E S288E1-S288E2-S281E5E3-S281E6E4-S281E7E5-S281E8E6-S281E9E7-S282E1E9 NT-S28D-S28G-S28H,RS-D238E-D239E CS-D238E-D239E, NRS-D238E, PA-239, RC-S28A・S28B・S28C・S28D・S28E・S28F・S28G-S28H	9mm
RS-D295・D297・D287E, YRS-D297	10mm

- しん高さの確認のしかた
- 下の、しん高さ確認ゲージを使用して、しんが規定の高さに均一に揃っていることを確認してください。



**各型式のしんの高さ**

型 式	しん高さ
RS-235・237・D234・D235・23, BRS-D235-23, CS-D235-D236-D237 HRS-235D-23・237, NRS-D234-D235-D236E-23E3-23E4	7.5mm
RS-233-923・1237E・S23A・S23B・S23C・S23D・S23E・S23F・S23G・S23H・S23I・S23J・S23K・S23L・S23M・S23N・S23O・S23P・S23Q NRS-233V6-S23E7-S23E8-S23E9-S23E10・S23E11-S23E12-S23E13-S23E14-S23E15-S23E16-S23E17-S23E18-S23E19 S23E20-S23E21-S23E22-S23E23-S23E24-S23E25-S23E26-S23E27-S23E28-S23E29-S23E30-S23E31-S23E32 AS-S23B-S23C-2300-2301 RSV-RSV-2300-2300 RSV-23-230A-AH-2300 RSV-2300	8mm
RC-D284E-D285E-D287E-D288E NRC-D283E-D284E-D285E-S286E-S287E S288E1-S288E2-S281E5E3-S281E6E4-S281E7E5-S281E8E6-S281E9E7-S282E1E9 NT-S28D-S28G-S28H,RS-D238E-D239E CS-D238E-D239E, NRS-D238E, PA-239, RC-S28A・S28B・S28C・S28D・S28E・S28F・S28G-S28H	9mm
RS-D295・D297・D287E, YRS-D297	10mm

- 下表の、しん高さの寸法は、
- しんを、いっばいに上げた高さです。
  - でるでつまみがついているものは、しん高さ調節つまみ(でるでつまみ)を①にして、しんをいっばいに上げた高さです。
  - ★右下欄に、しん高さを確認するゲージが、ついています。しん高さが均一に揃っていることを確認してください。

